

狛江第三小学校 教育目標

東京都の教育目標
狛江市の教育目標

- 進んで学び、考える力、表現する力を高めようとする子
- 認め合い、支え合い、協力して行動しようとする子
- 心と体の健康を考え、進んできたえようとする子

二中ゾーンが目
指す伸ばしたい
子どもの力・姿

「子ども」と「大人」が協働して築く学校

自分や他人を大切に、主体的に行動することができる子

自立的に学び続ける児童の育成

- ・校内研究を基盤とした、授業改善
 - 自立に向けた「AARサイクル」の深化
 - 自らの「問い」をもち、学習方法を設定
 - 多様な学びの場や方法を選択・実行
 - 成果や課題を客観的に評価、次の「問い」へ
- 問題解決学習（SPBL）と授業改善ミーティング
 - 子どもの意欲を引き出す「問い」との出会いの工夫
 - 「授業改善ミーティング」を通じた、指導と評価の一体化
- ・教育活動の質の向上を図る、カリキュラム・マネジメント
 - 一部教科担任制、交換授業等の実施
 - PDCAサイクルを通じた、柔軟なカリキュラム・マネジメント
 - ゲストティーチャーを活用した体験的な学び（地域を活用）

自分たちで作る狛江第三小学校

- ・主権者意識の育成
 - 児童運営委員会による、学校運営への参画意識
 - 委員会活動・クラブ活動での企画・運営
 - 学級会・係活動の充実
- ・「傾聴」と「対話」を通じた問題解決
 - お互いの話を傾聴する
 - 最上位目標の確認
 - 「対話」を通して、どうすればいいのか、どうしていきたいのか考える

一人一人のよさを伸ばす特別支援教育の充実

- ・全ての子どものための特別支援教育の充実
 - 多様な子どもがいることを前提とした、誰一人取り残さない教育の実践
 - 多様性を認め、居心地のよい学校環境づくり
- ・全ての学級における特別支援教育の推進
 - 通常学級担任と特別支援学級担任、特別支援教室担任との連携（児童の見取り方、具体的対応等の共有）
- ・ユニバーサルデザインの視点に立った授業改善
 - アセスメントの充実・ICT機器の活用
- ・個に応じた適切な支援の活用
 - ティーチングアシスタントや学校と家庭の連携支援員

安全・安心に過ごせる学校づくり

- ・全ての児童を全員が見取る学校環境づくり
 - 全教職員での共有（生活指導夕会での情報共有、校内委員会の毎月開催等）
- ・WEBQUを活用したよりよい集団作り
 - データの分析・比較と情報共有、迅速な対応
- ・外部諸機関との連携
 - SSW、子ども家庭支援センターなど
- ・いじめの早期発見といじめ防止委員会による迅速な対応
 - 年3回のいじめのアンケートの実施、個別対応

前向きに子どもに向き合う教職員集団

- ・教育理念をもち、新しいことに挑戦し続ける。（トライ＆エラー）
- ・自分の強みを生かし、磨き続ける
- ・子ども一人一人のよさを理解し、ありのままの姿を受け入れる
- ・子どもや保護者の話を「傾聴」し、「対話」を通して信頼関係を築く
- ・危機管理意識を高くもち、緊急時には迅速に対応する
- ・家庭や地域の思いや願いを共有する

保護者や地域との協働（CS）

- ・地域と連携、協働した教育活動の推進
- ・地域コーディネータを活用した、地域人材の発掘
- ・二中ゾーンでの小中連携（音楽の街 狛江）
- ・第二育成との連携（かがく実験屋台村・漢字検定等）

「チーム KOMA3」学校・家庭・地域一体となった教育の推進
⇒ 全ての子どもと大人のウェルビーイング